



参院選 市民と野党の共闘で「改憲勢力 2/3」を阻む

日本共産党をご支持いただき、ともに奮闘していただいた皆さまに心から感謝を申し上げます。

安倍政権は「政府与党勝利」のように宣伝していますが事実は違います。重要なのは、安倍首相が改憲を公約に掲げた選挙で、自民党が改選比で9議席減らし、自民・公明・維新など改憲勢力を加えても改憲発議に必要な3分の2の議席を割ったことです。「3分の2割れ」の審判は、「性急な改憲の動きは賛成できない」という民意を示したものにほかなりません。

この結果をつくる上で、市民と野党の共闘が決定的役割を果たしました。全国32の1人区ですべてで野党統一候補を実現し、10選挙区で大激戦を制して勝利。1人区で野党が、改選前2議席から10議席へと躍進しました。共闘の力で、安倍首相による改憲策動に痛打を与え、政治局面を変えたことの意義はとりわけ大きいものがあります。



開票翌朝、街頭で選挙結果を報告する、すやま初美さん（左）と4選を果たした井上さとし参院議員（右）



選挙中、江南駅で、後援会の皆さんでメガホン宣伝

この成果を踏まえ総選挙にむけ、市民と野党の共闘をさらに大きく発展させ、安倍政権を倒し、新しい政治をつくるために力をつくす決意です。

日本共産党は選挙区で3議席を得ましたが、比例代表で、改選5議席から4議席に残念な後退をしました。しかし2017年総選挙の比例代表の得票、得票率と比べ前進できたことは、次への重要な足がかりとなります。愛知選挙区では、力不足で、すやま初美候補を押し上げることができませんでした。

年金、消費税、家計支援、憲法など、日本共産党が提起した問題が選挙の中心争点となり、安倍・自公政権を追い詰め、論戦をリードしました。日本共産党は新しい国会で、一連の政策提起にもとづく論戦をさらに発展させ、公約の実現のためにあらゆる力をつくします。（日本共産党江南市委員会）

		比例得票	得票率	すやま得票	得票率
2019年 参院選	江南市	3689票	9.56%	3713票	9.64%
	全国（選挙区は愛知）	448万票	8.95%	216674票	7.56%
2017年 衆院選	江南市	3509票	7.76%		
	全国	440万票	7.90%		



年金の改善を求める 請願を不採択

6月議会に「年金者組合江南支部」から二つの請願が提出されました。

一つは「後期高齢者医療費の自己負担を2割にしない」。二つ目は「年金の改善」（年金開始年齢の引き上げをしない。マクロ経済スライドの発動は凍結する。最低保障年金制度の早期実現と国庫負担金の3万3千円をすべての高齢者に支給する）ことを、それぞれ江南市議会として国に求める内容でした。

審議の結果、掛布まち子、三輪陽子の日本共産党議員団と、社民党の山登志浩議員が賛成しただけで、他の議員は反対し、二つの請願は不採択となりました。

学校トイレの洋式化改修、来年度までに市内全校で完了へ

6月議会補正予算に、未着手だった2小学校（古北・草井）1中学校（布袋）のトイレ洋式化改修の設計費が1年前倒して盛り込まれました。今年度に設計、来年度に工事の予定で、市内15小中学校全部で改修が完了します。



小学校のエアコンが稼働

快適な環境で、給食の食べ残し減る

市内小学校の普通教室へのエアコン設置が終わり、6月下旬から稼働しています。快適な学習環境となり、例年夏に増える給食の食べ残しが、今年はめっきり減少しているそうです。



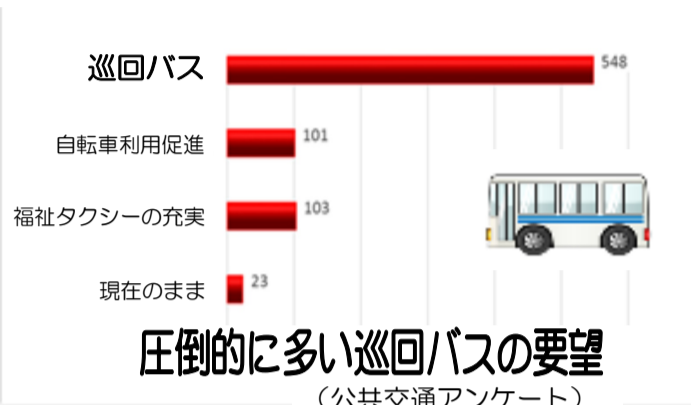


安くて便利な巡回バスを

日本共産党の公共交通アンケートに700通を超える多くの回答があり、安くて便利な公共交通の充実に対する市民の要望の強さがますますはっきりしました。

市議 **かけのまち子**

現に買い物にも不便で困っている市民、高齢になっても免許の返納ができず不安



を抱える市民にとって緊急の重要課題です。これらの声をどう受け止めてどう対応するのかと質しました。

市長は「足の確保は大切な事であり、巡回バスを求める市民の声があることは認識しているが、厳しい財政状況の中、現在のところはそのまま様子を見守る」と、重要性も市民の窮状も認識しながら取り組もうとしない、冷たい答弁でした。

すし詰め学童保育の解消を

市長の公約でもある学童保育の6年生までの拡大、連続値上げで高くなってしまった学童保育料の第2子以降の減免を求めました。

また、依然として外遊びができず、すし詰め古北学童や、空き教室の目途が立たずフジッ子教室がいまだに未実施の古北小・布袋北小2校での早急な開設のために、校庭内にプレハブを整備するよう求めました。

「学童保育の対象学年拡大は、実施できるところから検討し、第2子以降の減免は、近隣市町を参考に判断する」「フジッ子教室未実施の2校は、学童保育も考慮しプレハブ整備を学校と協議し検討する」との答弁でした。



インフルエンザワクチンの助成の実現を

5月17日初めての一般質問に臨みました。

市議 **みわ陽子**

選挙中に公約した休日保育、病児・病後児保育、また3月議会に請願が全会一致で採択されたインフルエンザワクチン

の助成の実現を中心に質問しました。

特にインフルエンザワクチンの助成については、2回接種が必要な13歳未満の子どもに対しての助成が最も必要です。また、予防を進めて、医療費の削減できる効果があること、署名が議会を動かし、要望を実現できたという体験が若い人の投票率アップにつながると迫りました。

ワクチン不足のおそれがあること、毎年1,000万円の財源が必要なことなどで今年度の実施は見送るとの答弁でしたが、近いうちの実施の手ごたえは得られました。



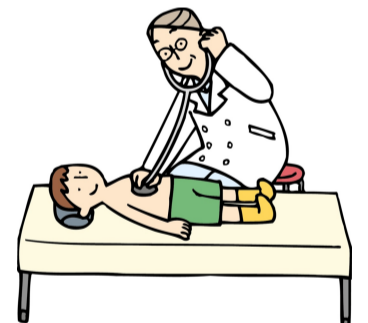
休日保育・病児病後児保育の実施を



昨年実施したアンケート結果では、19%の方が休日保育を希望されています。近隣市町で実施されている休日保育が、江南市で実施されていない

のはなぜかと迫りましたが、保育士不足で困難との答弁でした。

その他には「布袋駅東複合施設と新図書館は市民の声を取り入れて建設を」と「日光川上流の浸水対策について」を質問しました。



水道料金、来年度18%、さらに5年後11.8%もの連続値上げを計画

江南市は、水道事業の今後10年間の投資と財源計画、収支見通しをみすえた経営戦略を策定し、水道料金を来年度に平均約18%、2025年度に平均11.8%と、連続の大幅な値上げを計画し、9月議会にまず約18%値上げする条例案を提出しようとしています。

経営戦略では、遅れている江南市の基幹管路（最も重要な太い水道管）の耐震化を推進するために、10年間で約88億円もの多額の投資を見込み、これを受益者負担で賄うために水道料金の大幅な値上げが必要だとしています。

安倍政権による非情な医療・介護・年金の連続改悪のもとで、特に高齢者、低所得者の暮らしが厳しさを増してい

ます。消費税の増税、そのうえ命の水まで大幅な値上げとなれば、特に余裕のない低所得者世帯の負担は堪えがたいものになります。

江南市の水道事業は事業開始から40年余。この間約30年以上にわたり、料金を値上げせず健全経営を続け、近年は毎年大幅な黒字を計上してきました。

計画にあたり、市民誰もが使う基本的な水道施設の整備費用は、受益者負担一辺倒ではなく市の一般会計からの出資で賄うことや、投資計画の見直し、企業債発行額の増額など、値上げを防ぐあらゆる可能性を追求し、市民の生活に寄り添った十分な検討が必要ではないでしょうか。日本共産党議員団は、6月議会一般質問でも取り上げました。

月25㎡使用の場合。
10月から消費税10%と仮定

水道料金(2か月)	現在	来年度
口径13ミリ	5616円	6710円
口径20ミリ	5616円	7040円

(改定案は口径別で基本料金が異なる予定)